

衣類に使われる染料には金属と反応して色が変化するものがあります。今回は、着用時につけていた金属のネックレスとの接触で染色物の色が変化した事例を紹介します。

衣類の状態

クリーニングから戻ってきたときに異常はなかつたが、一度着用したら首回りと胸元が変色したとの申し出があつたもの。

原因

利用者が使用していた金属ネックレスの金属成分と染料が反応したために変色が生じたもの。ネックレスの金属は銅合金、染料には反応染料が使用されているものと推定される。

事故の防止対策

利用者が使用しているネックレスとの接触による事故のため、クリーニングでの防止策はない。ただし、持ちこまれた際に、首回りなどが変色している場合には、利用者に着用時の状況などを確認することが望まれる。

反応染料

纖維と染料が科学的な反応により結合して染着する染料。染料と纖維が化学的な反応による結合で一体になっているため、堅ろうもある。



首周りと胸元が変色したワンピース



金属に接触する生地表面のみが変色



赤系の染色物が金属と反応して変色した例



※旧表示製品

- 「衣料管理情報」は全ク連ホームページからPDFをダウンロードいただけます。
全ク連HP <https://www.zenkuren.or.jp>
「お知らせ」→「衣料管理情報」



監修／クリーニング総合研究所